

⑦ 学習院長官舎

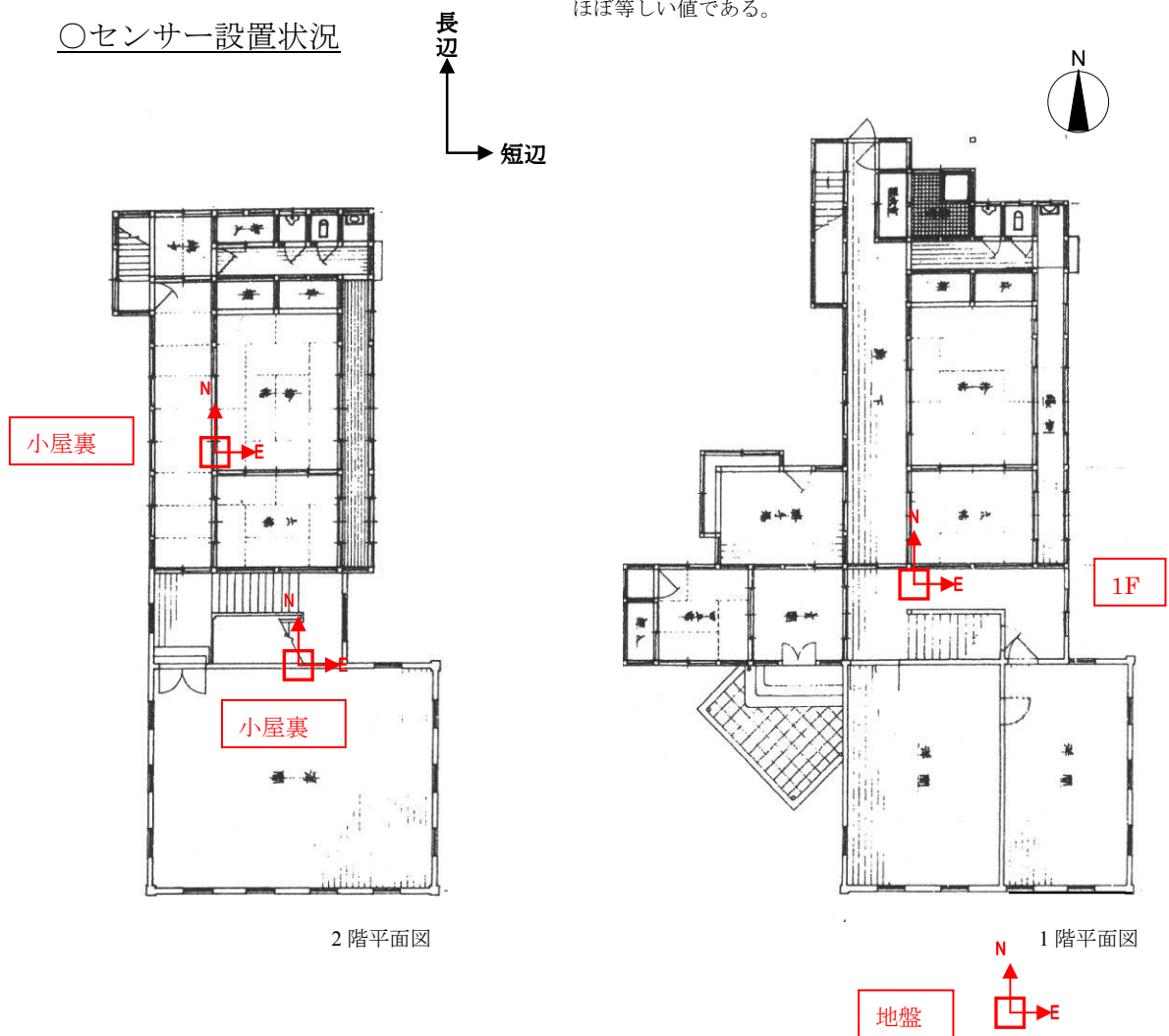


旧所在地	東京都豊島区目白		
構造、階数、用途	木造、2階建、住宅		
建築年	1909	移築年	1964
最高高さ(m)	9.85	標高(m)	134.90
建築面積(㎡)	160.05	延床面積(㎡)	293.29

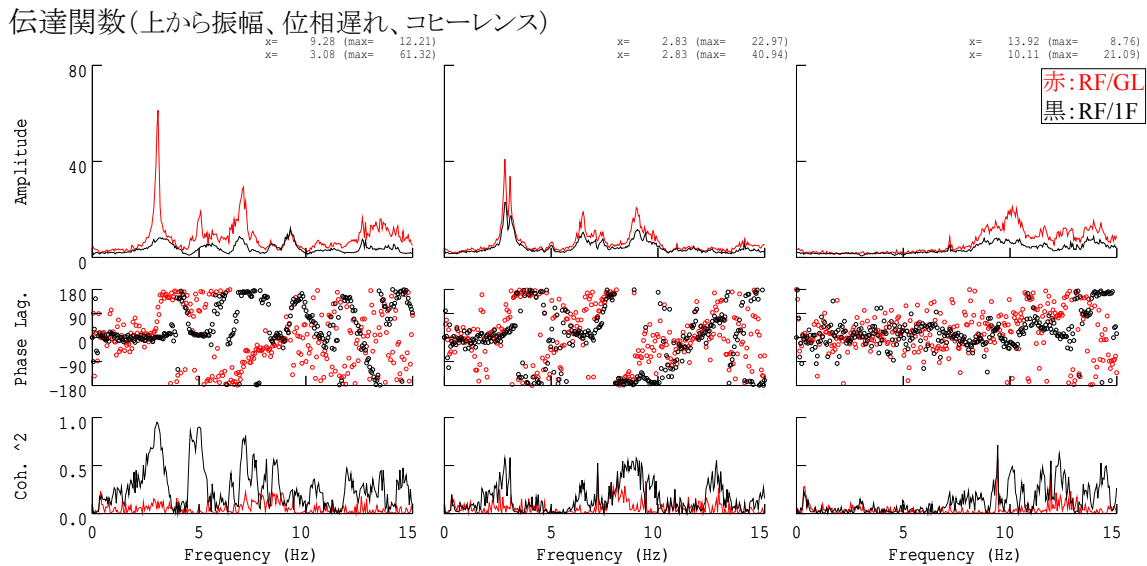
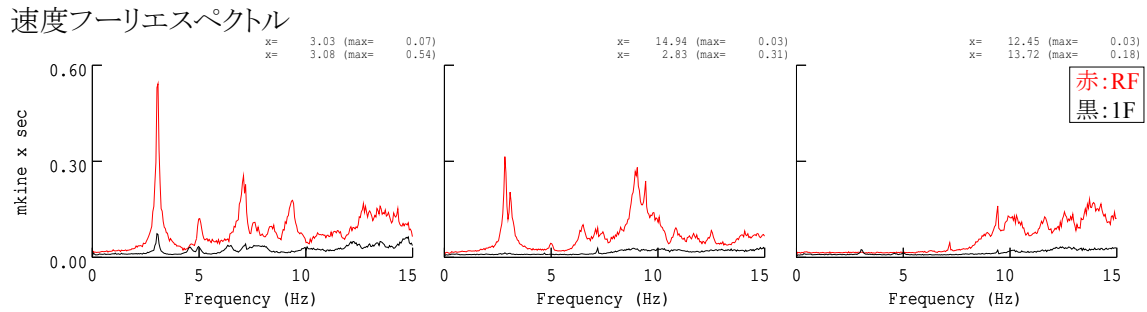
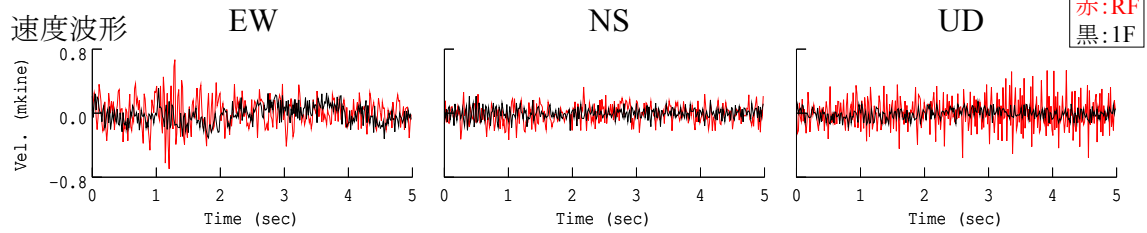
• 公的な南側の洋館と、私的な北側の和館をつなぎ合わせた形式になっている。立式生活の場である洋館は軒高が高く、座式生活の場である和館は、洋館に比べて屋根が低い。

• センサーは北側の小屋裏と、中央の階段室の1階床上に設置した。小屋組は異なるが、長辺・短辺方向ともに固有振動数はほぼ等しい値である。

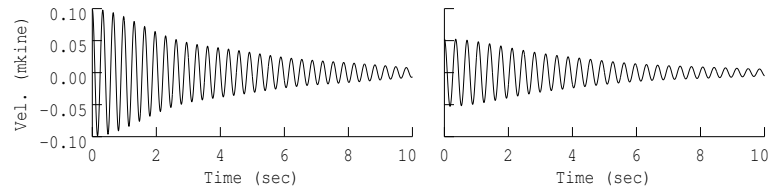
○センサー設置状況



⑦ 学習院長官舎 北側



RD 法による自由振動波形



□ 推定固有振動数

EW 3.06Hz

NS 2.85Hz

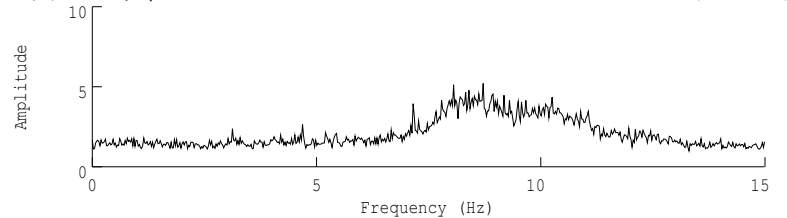
□ 推定減衰定数

EW 1.33%

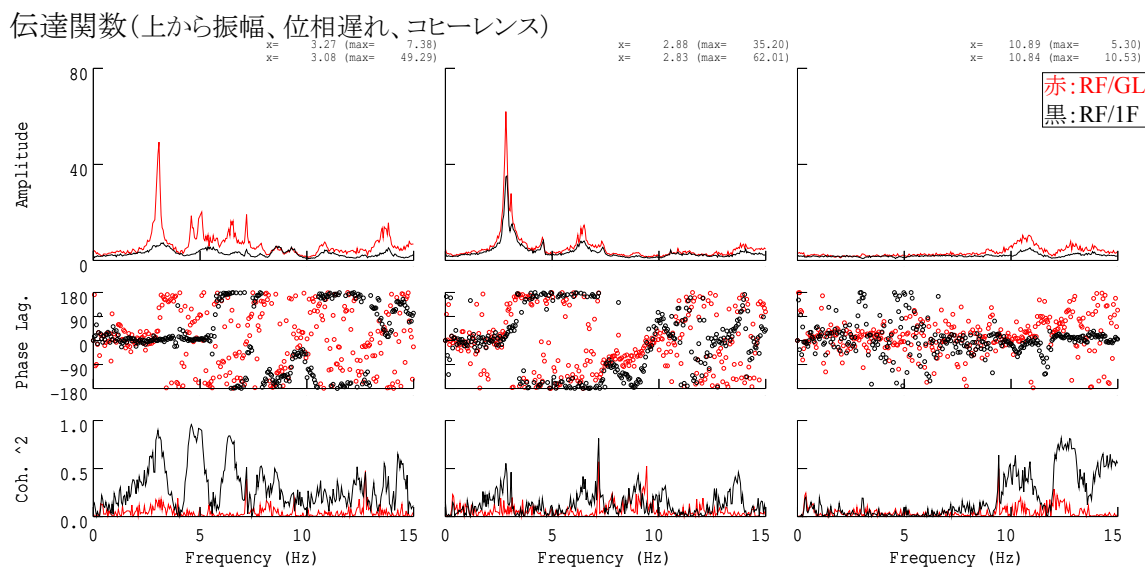
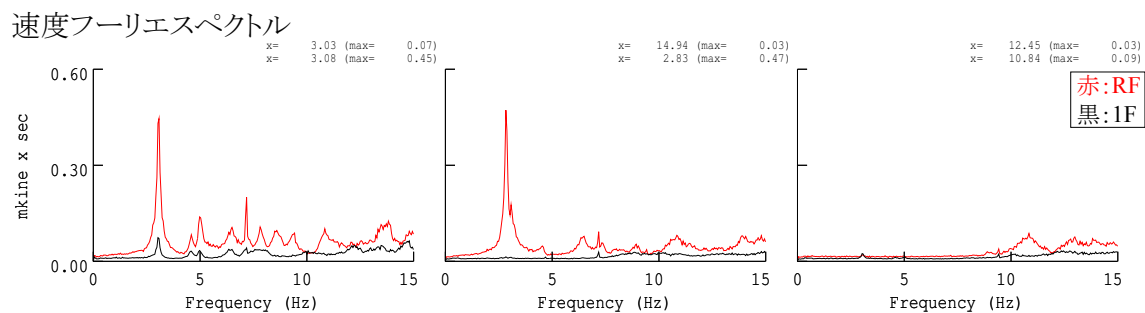
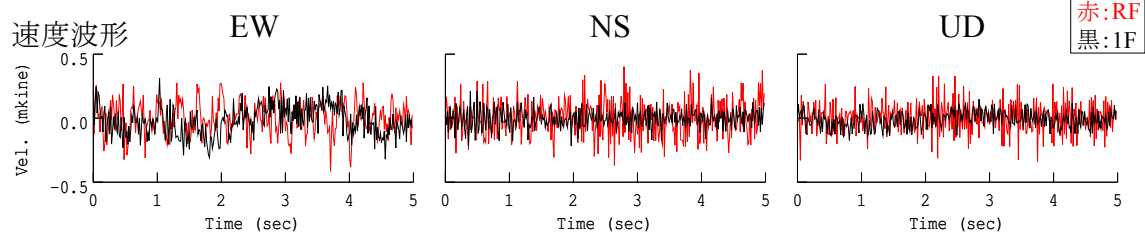
NS 1.37%

[RD 法(対数減衰率)]

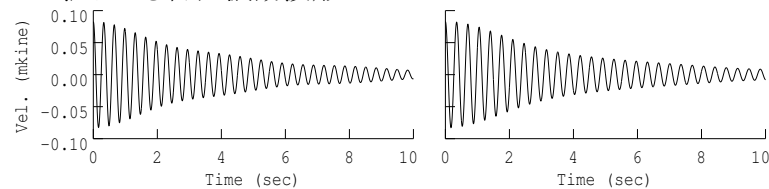
H/V スペクトル



⑦ 学習院長官舎 南側



RD 法による自由振動波形



□ 推定固有振動数

EW 3.06Hz

NS 2.85Hz

□ 推定減衰定数

EW 1.40%

NS 1.35%

[RD 法(対数減衰率)]

H/V スペクトル

